

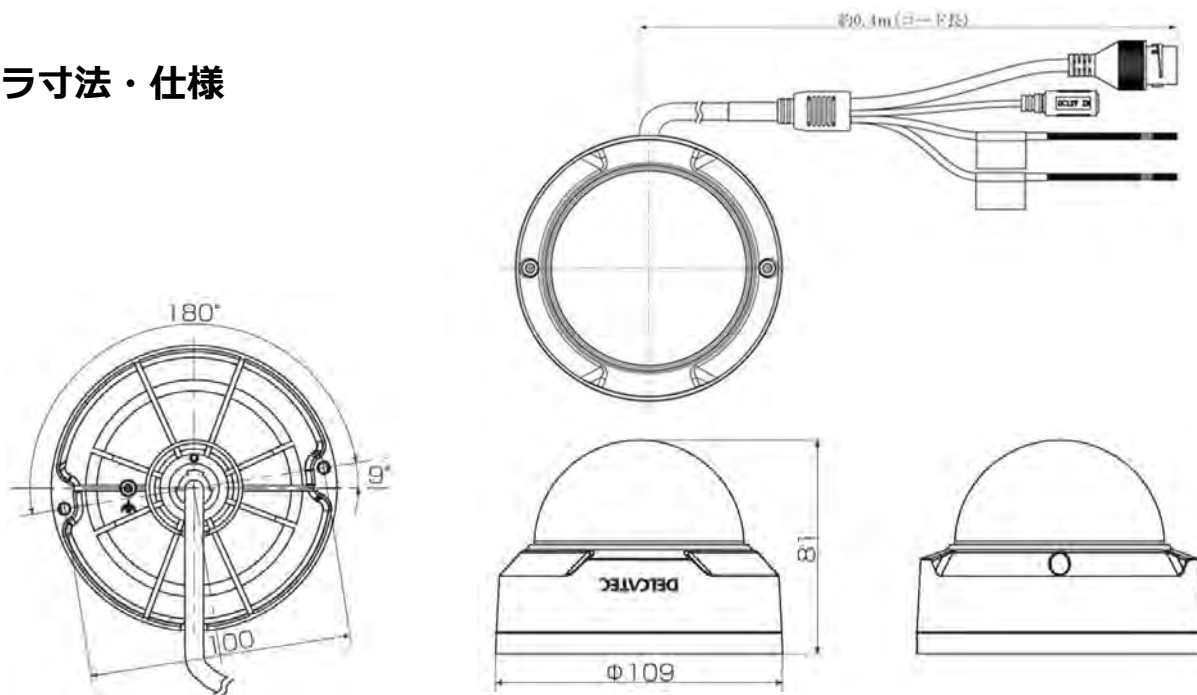
目次



1. 寸法、仕様・・・P.3～P.4
2. ケーブルの防水加工手順・・・P.5～P.6
3. 設置方法(配管接続・露出配線する場合)・・・P.7～P.9
4. 設置方法(屋内設置且つ隠蔽配線可能な場合)・・・P.10～P.12
5. ポールへの設置方法・・・P.13～P.15
6. H鋼への設置方法・・・P.16～P.18
7. 付属品、その他・・・P.19

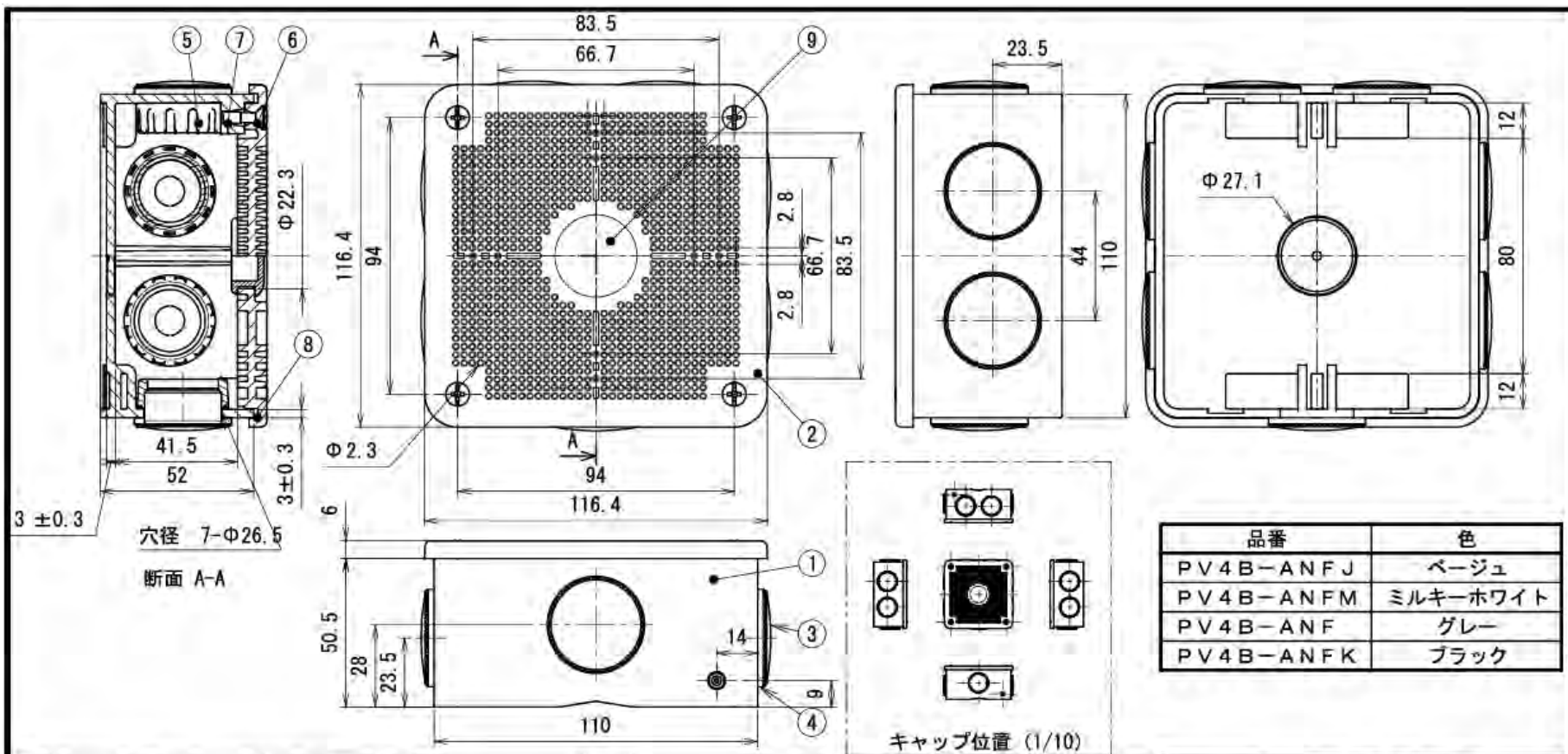
版数	日時	改訂内容
第1版	2024年6月	初版発行
第2版	2024年8月	P.16～P.18 H鋼への設置方法を追加

1. カメラ寸法・仕様



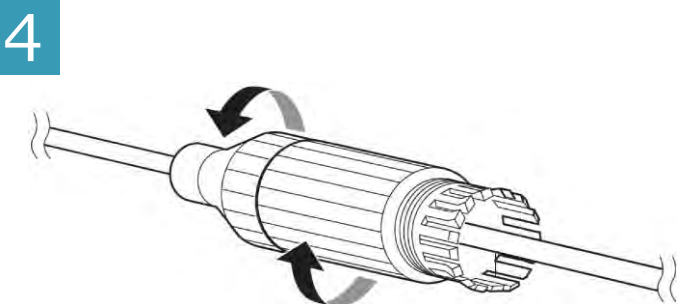
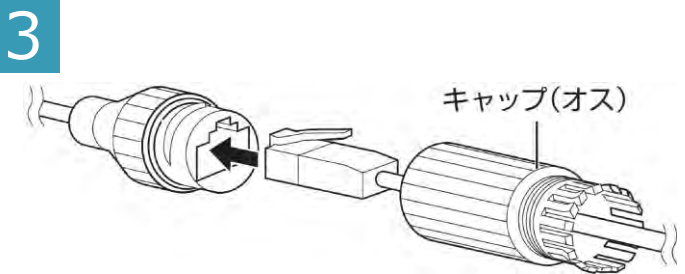
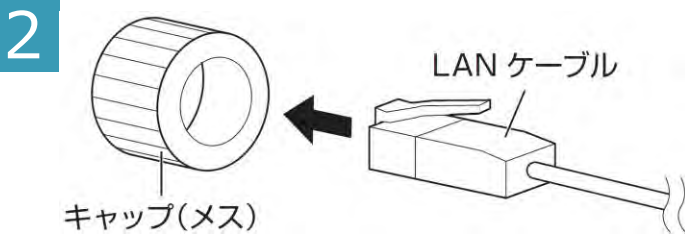
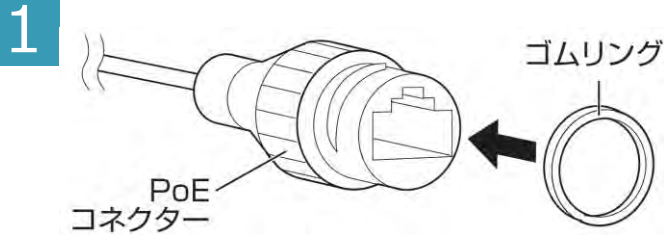
入力電力	PoE(IEEE802.3af準拠)	音声検知	X
画角	水平106° 垂直57°	SDカード	○
暗所撮影	○	光学ズーム	X
防水防塵	IP67	焦点距離	最大 30m
動作温度	-30~60℃	WDR	対応
マイク	X	寸法	Φ : 109 × H : 81 (mm)
スピーカー	X	重量	430g
モーション検知	○	消費電力	Max 5.0W

2. ボックス寸法



製品仕様図												
符号	名称	材質	個数	備考	符号	名称	材質	個数	備考	尺度	品名	図番
										1/2		
8	パッキン	CR	1								露出用四角ボックス (取付自在蓋)	PV4B-ANF
7	六角ナット	C2800	4	M4								
6	(+)丸皿小ねじ	SUS	4	M4×14								
5	ロックナット	PS	7									
4	コネクタ用パッキン	EPDM	7									
3	キャップ	PVC	7		(11)	絶縁キャップ小	PVC-P	4	添付			
2	蓋	AES	1		(10)	十字穴付きなベタピンねじ	SUS	4	添付 4×20			
1	本体	AES	1		9	ケーブルブッシング	EPDM	1	ZGV-P16			
										第三角法		PV63471K3 m
										未来工業株式会社		

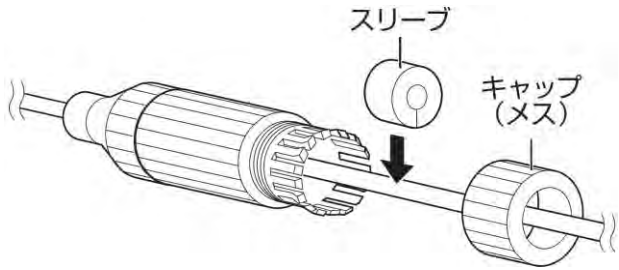
ケーブルの防水加工手順1



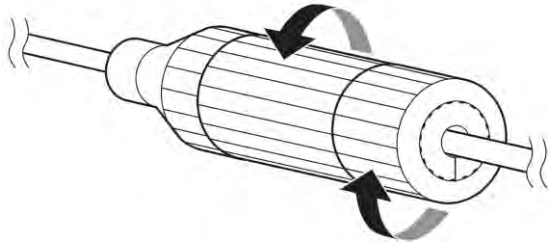
1. カメラ本体に接続されているPoEコネクタの先端にゴムリングを奥までしっかり取り付けます。
2. LANケーブルにキャップ（メス）を通します。
※LANケーブルはブーツ（保護カバー）の無いものをお使いください。ブーツがあるとキャップが閉まらず防水性能を保つことができません。
3. LANケーブルにキャップ（オス）を通しPoEコネクタにLANケーブルを接続します。
4. カメラ本体につながっているケーブルのPoEコネクタにLANケーブルを接続してから、PoEコネクタとキャップ（オス）の溝を合わせてしっかりと締め付けます。

ケーブルの防水加工手順2

5



6



7



5. キャップ (オス) とキャップ (メス) との間にスリーブを取り付けします。
※スリーブには切れ目がありますので、上からかぶせて通すことができます。
6. キャップ (オス) とキャップ (メス) をしっかりと締め付けます。
7. 防水テープでケーブル末端部、接続部を巻きつける。

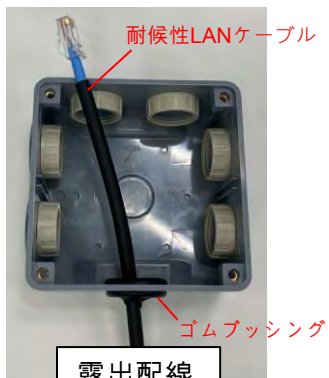
壁面設置



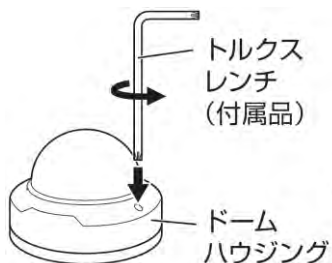
天井設置



配管接続

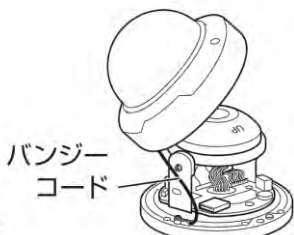


露出配線



トルクス
レンチ
(付属品)

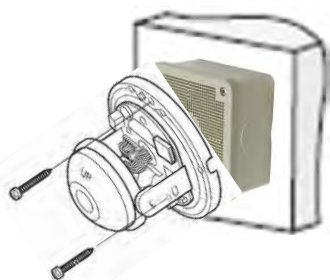
ドーム
ハウジング



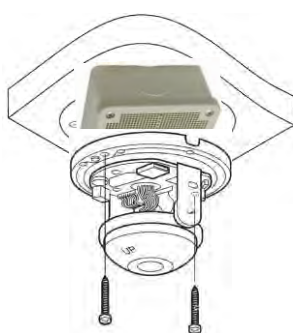
バンジー
コード

1. 露出ボックスを設置します。
 ※左図露出ボックスはPV4B-ANF1J
 ※通線するノックが下側になるよう設置してください。
 ※設置面の材質や強度等を考慮し必要な場合は補強等を行ってください。
 ※露出ボックスに付属のネジはM4x20mmです。
 必要な場合は別途アンカーやビス等をご用意ください。
2. 配管接続の場合、ボックス下側ノックに配管を接続
 露出配線の場合、ボックス下側ノックにケーブルブッシングを取り付けLANケーブルを通線する。
 ※左図配管接続はPF管Φ22mmを接続(Φ16mmも接続可)
 ※露出配線の場合は耐候性LANケーブルを使用
 ※ブッシングへの通線切り込みはケーブルが通る必要最低限の切り込みにする。
3. カメラを露出ボックスに取り付ける前に、本体のドームハウジングを開ける必要があります。
 付属のトルクスレンチ(T10)で2本のネジを緩めて外します。
 ※ネジはドームハウジングからはずれません。
 ※ドームハウジングと本体は落下防止の為、バンジーコードで繋がっています。カメラ取り付けする際は取り外してください。
4. ケーブルの防水加工を行い、PoEコネクタを接続します。
 P.4 防水加工手順を参考に防水加工を行って下さい。

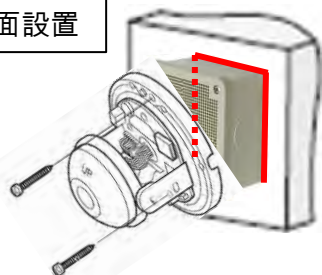
壁面設置



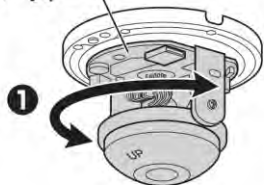
天井設置



壁面設置



レンズベース



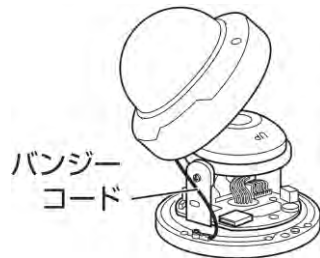
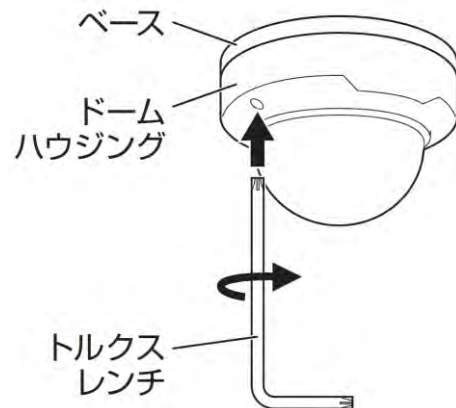
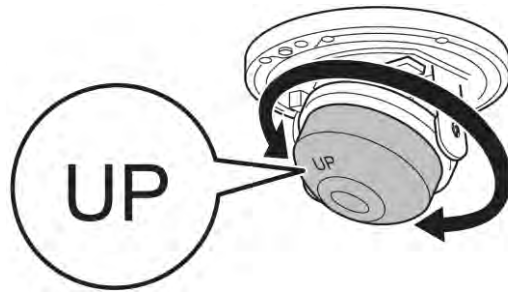
固定ネジ

レンズユニット

5. カメラを露出ボックスに取り付けます。
 取付ネジ2本をドライバーで絞めつけて固定します。
 ※カメラに付属のネジはM3x25mmです。
 ※壁面に取り付ける場合は、ベースの切り欠きが下向きになるように設置してください。

6. 露出ボックスの壁面設置面をコーキングします。
 壁面設置の場合、上面、側面の計3面のコーキングを行います。
 ※配管が側面から接続される場合でも同様にコーキングを実施。
 天面設置の場合、水が直接かかる環境の際はコーキングを行ってください。

7. カメラの画角を調整します。
 - ① 水平方向に調整する場合は、レンズベース部分を回転させます。
 - ② 垂直方向に調整する場合は、左右の固定ネジを少し緩め
 レンズユニット部の角度を調整します。
 調整後、緩めた固定ネジを締め付けてください。
 ※固定ネジはきつく締めすぎないようにご注意ください。
 電動ドライバーなどできつく締めすぎると、ネジ山がつぶれる原因となります。

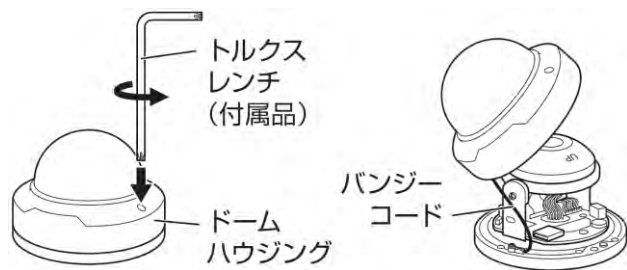
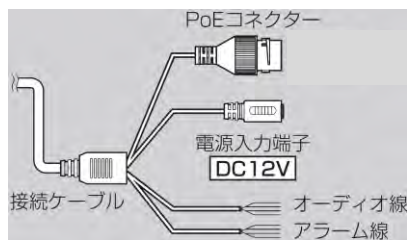
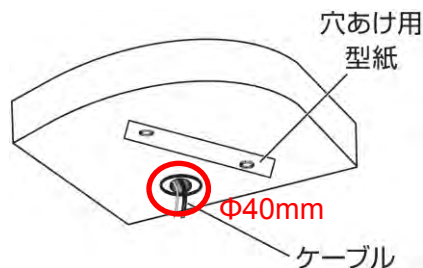


7. カメラの画角を調整します。

- ③映像の上下方向が正しくなるようレンズユニット部を回転させます。
レンズユニット部にある「UP」の刻印が、映像での上方向になるようレンズユニット部を回転させます。

8. ドームハウジングを取り付ける。

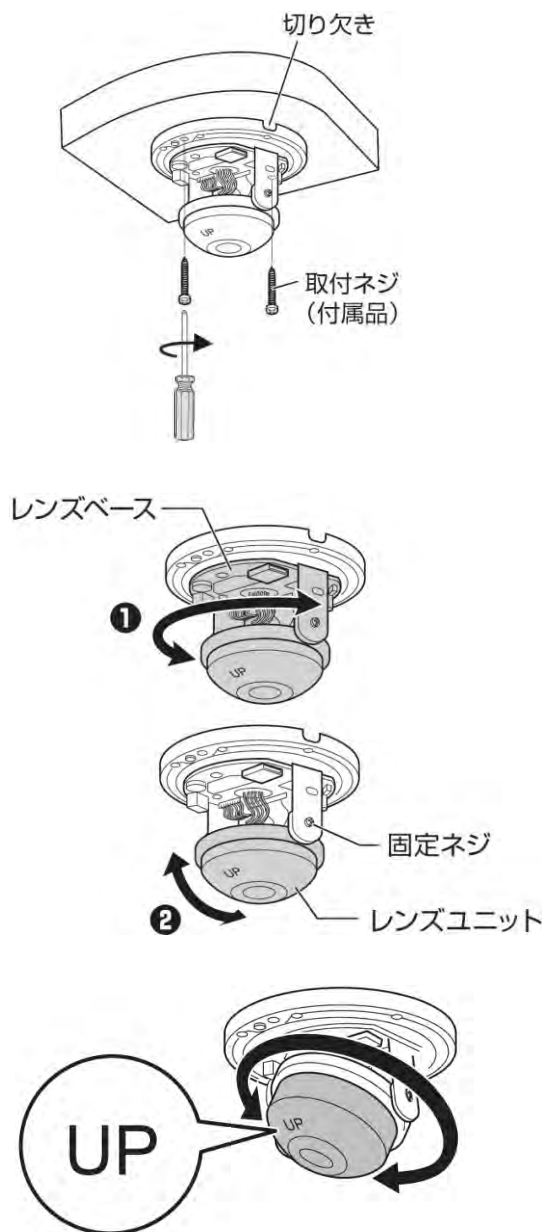
- ドームハウジングとベースのネジ穴の位置を合わせドームハウジングのネジ2本を付属トルクスレンチ(T10)で締めて固定します。
※バンジーコードが、ベースとドームハウジングに挟まれてしまう場合バンジーコードの向きを修正するなど、確実に防水が保てるようにしてください。浸水、レンズが曇る原因となります。



1. 設置面に穴あけ用型紙を貼り付け、Φ40mmの通線口を開けケーブルを通します。
 ※設置面の材質や強度等を考慮し必要な場合は補強等を行ってください。
 ※壁内へカメラの接続ケーブル・PoEコネクタ等を収めるスペースが必要です。

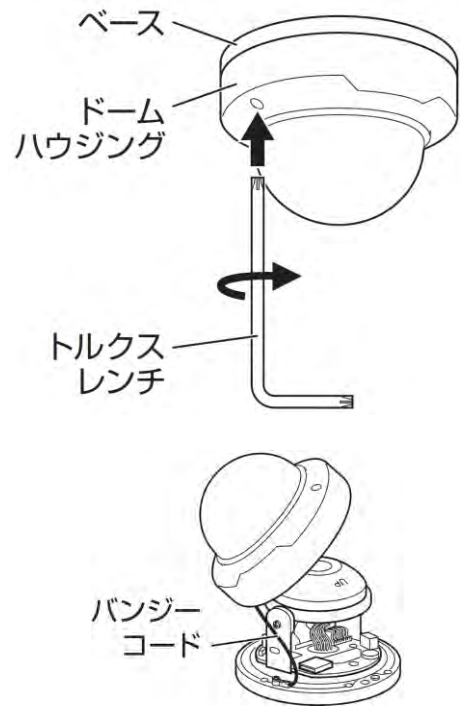
2. カメラを設置面に取付ける前に、本体のドームハウジングを開ける必要があります。
 付属のトルクスレンチ(T10)で2本のネジを緩めて外します。
 ※ネジはドームハウジングからはずれません。
 ※ドームハウジングと本体は落下防止の為、バンジーコードで繋がっています。カメラ取り付けする際は取り外してください。

3. ケーブルの防水加工を行い、PoEコネクタを接続します。
 P.4 防水加工手順を参考に防水加工を行って下さい。



4. カメラを設置面に取り付けます。
 取付ネジ2本をドライバーで締めつけて固定します。
 ※カメラに付属のネジはM3x25mmです。
 ※壁面に取り付ける場合は、ベースの切り欠きが下向きになるように設置してください。
 ※露出配線の場合はボックスを使用してください（P.6～参照）

5. カメラの画角を調整します。
 - ① 水平方向に調整する場合は、レンズベース部分を回転させます。
 - ② 垂直方向に調整する場合は、左右の固定ネジを少し緩めレンズユニット部の角度を調整します。
 調整後、緩めた固定ネジを締め付けてください。
 ※固定ネジはきつく締めすぎないようにご注意ください。
 電動ドライバーなどできつく締めすぎると、ネジ山がつぶれる原因となります。
 - ③ 映像の上下方向が正しくなるようレンズユニット部を回転させます。
 レンズユニット部にある「UP」の刻印が、映像での上方向になるようレンズユニット部を回転させます。



- ドームハウジングを取り付ける。
ドームハウジングとベースのネジ穴の位置を合わせドームハウジングのネジ2本を付属トルクスレンチ(T10)で締めて固定します。
※バンジーコードが、ベースとドームハウジングに挟まれてしまう場合
バンジーコードの向きを修正するなど、確実に防水が保てるようにしてください。浸水、レンズが曇る原因となります。

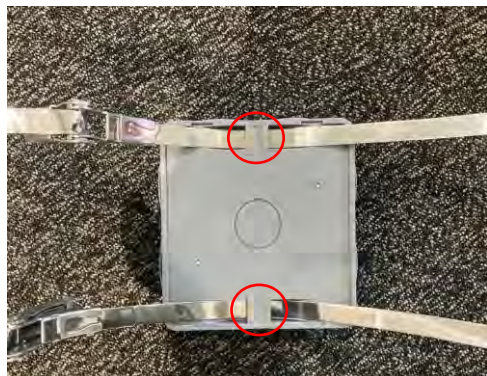
PV4B-ANF
露出ボックス

CNE3CDF1
ドームカメラ



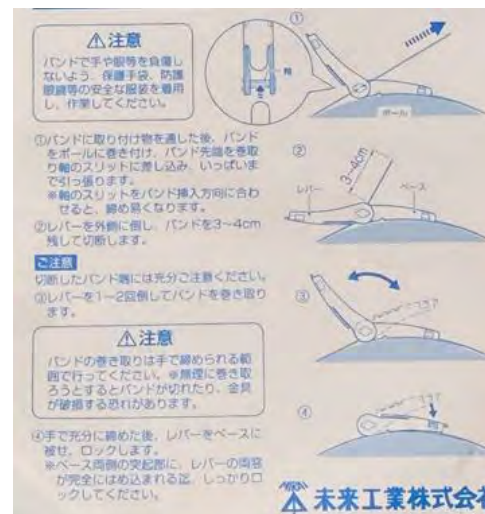
POB-12
ポールバンド(ステン)

① ボックスにポールバンドを通す



- ・ボックス背面の上下にポールバンドを通す(バンド幅10mm)

② ポールバンドでボックスを固定する



- ※バンドで手や眼等を負傷しないよう、保護手袋、防護眼鏡等の安全な服装を着用し、作業してください。

③ボックスへLANケーブル(UTP)を通線する



- ・ボックス下部からLANケーブルをボックス内へ通線する。
※左記写真は配管接続の場合
※露出配線の場合は耐候性LANケーブルを使用し
ボックス下部のノックヘブッシングを取付ける。

④カメラをボックスに取り付ける



- ・ボックス蓋のノックにカメラのコネクタを通し取付ネジ2本でカメラをボックス蓋に固定する。
- ・ケーブルの防水加工及びPoEコネクタにLANケーブルを接続します。
(防水加工の手順はP.4~P.5ページに記載)

- ※カメラに付属のネジはM3x25mmです。
※ベースの切り欠きが下向きになるように設置してください。

■POB-□仕様



施工する際は、軸の溝にバンドを通し、矢印のようにレバーを動かし、バンドに張力が掛かるまで繰り返す。張力が一杯になったら、左図のようにレバーをベースに押し込んで固定する。

品番	L	ポール径
POB-6	600	φ 65～φ 160
POB-9	900	φ 65～φ 250
POB-12	1200	φ 65～φ 350

※ポール径によってバンドの長さが異なりますのでご注意ください

製品仕様図				
尺度	品名	ポールバンド(ステンレス)		
1/1		POB-__		
第三角法	図番	WB18971C		
未来工業株式会社				

符号	名称	材質	個数	備考
5	バンド	SUS304	1	t=0.3
4	歯板	SUS304	1	-
3	軸	SUS304	1	-
2	ベース	SUS304	1	-
1	レバー	SUS304	1	-

PV4B-ANF
露出ボックス



SGA-11D
ビームラックル(H・L・C形鋼用)

CNE3CDF1
ドームカメラ

① ボックスにビームラックルを取付ける



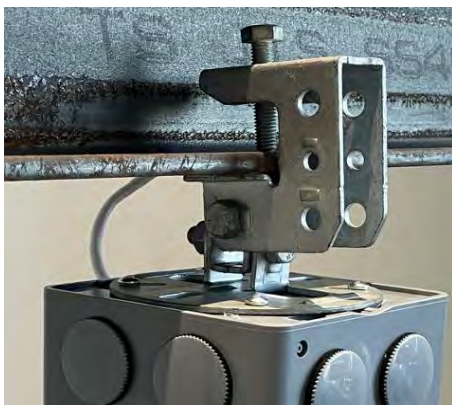
- ・ボックス背面にビームラックルをビス留めする
※写真はM4 15mmのドリルビスを使用

② H鋼へビームラックルを固定する



- ・H鋼にビームラックルを取付け、ボルトを締める

③ ボックスへLANケーブル(UTP)を通線する



- ・ボックス内へLANケーブルを通線する。
※写真はボックス側面のロックへブッシングを取付け通線。

④ カメラをボックスに取付ける



- ・ボックス蓋のロックにカメラのコネクタを通し、取付ネジ2本でカメラをボックス蓋に固定する。
※カメラに付属のネジはM3x25mmです。
- ・ケーブルの防水加工及びPoEコネクタにLANケーブルを接続し、ボックス蓋を固定する。
(防水加工手順はP.4~P.5ページ記載)

■ ビームラックルH・L・C形鋼用 SGA-11D

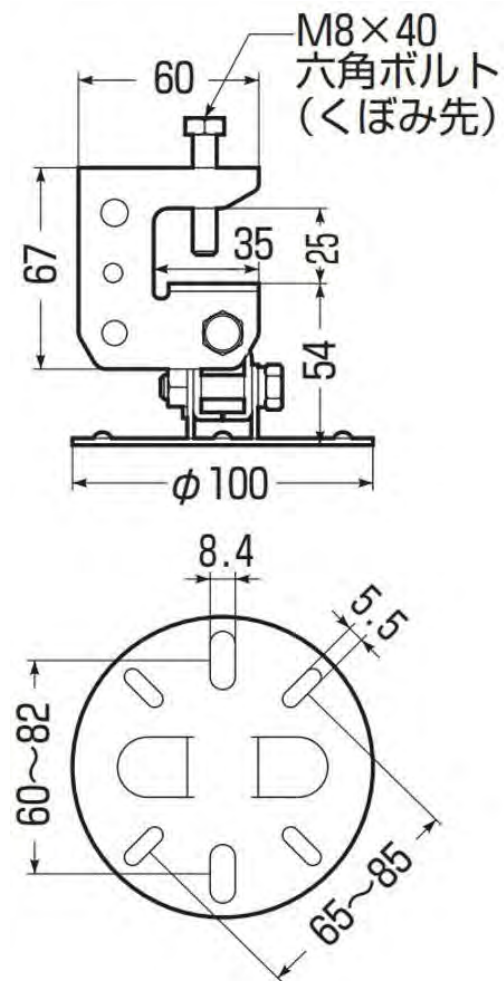
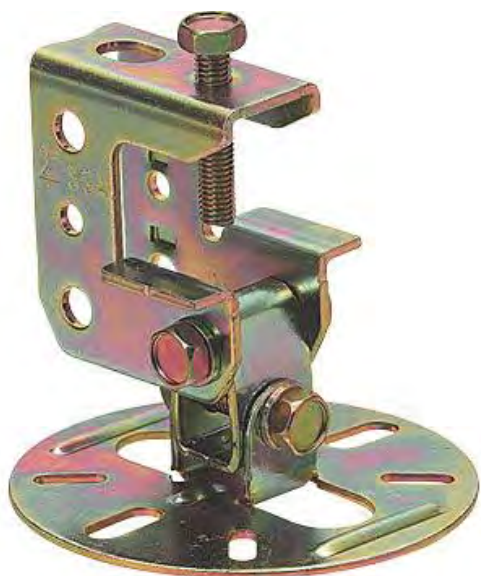
寸法 : L100 × W92.5

重量 : 390g

付属品 : 取付ネジ(M4 × 15mm ワッシャー+スプリング付 ステンレス) 2個

取付ナット(M4 ステンレス) 2個

適合鋼材サイズ : t=24mm以下



■カメラ付属品

- ・取付ネジ M3 ×25mm 3本
- ・プラスチックプラグ 3本
- ・取扱説明書
- ・穴あけ用型紙
- ・L型トルクスレンチ(T10)
- ・防水対策用部品セット(RJ45用)
- ・防水テープ



■露出ボックス付属品

- ・取付ネジ M4 ×20mm 4本
- ・絶縁キャップ 4個



△注意

- 使用するアンカーやビスはカメラ設置面の材質や厚み、背面の状況に合わせて選定してください。
- 屋外対応品となりますが必要な場合はコーキング等の止水処理をしてください。
- 施工前に同梱品等を事前にご確認おねがいします。